

農業後継者にインタビュー

熊川地区 野島 一泰 さん

のしま かずやす

昭和三十五年生まれの五十歳。熊川の野島一泰さんは高齢層が多い福生農業の中では、とりわけフレッシュな存在です。

「農業を継ぐことになったときは、かなり戸惑いを感じました。」という一泰さんですが、平成二十年には東京都のフレッシュ&ウターンセミナーを受講、周りの受講生の熱気を感じたり、アドバイスを受けることで次第に興味ややる気が出てきたそうです。

「野菜作りで分からないことがあるときは、周りの農家のみなさんが親切に教えてくれます。」未経験から始めた一泰さん、今ではJAの直売所や畑で、トマトやナスなどの夏野菜、ルバブ、バジルなどの各種ハーブを販売するまでに至っています。

馴染みのない野菜には レシピをつけて

さらに、ハーブ等を野菜のコンパニオンプランツとして利用し、風味の向上や病害虫の予防を図ってみたい、馴染みの少ないハーブや野菜にレシピをつけるなどのこだわりを教えてくださいました。「自分の育てた野菜をお客様が『おいしい』と言ってくれたときには、最高の充実感を感じます。」と、様々な努力が実を結んだときの心境を教えてくださいました。



形・大きさより「おいしい野菜」を

「自身の性格を生真面目で頑固な性格と分析する一泰さん。趣味の山歩きの間もなかなか取れないほど、畑仕事に熱心に取り組みられています。目標は、形や大きさにこだわらず、「おいしい」と皆から言ってもらえるような野菜作りだそうです。

また、畑で直売をしていると、市民や小中学生で農業に関心のある方が年々多くなっていると感じるそうです。「収穫体験など市民皆で農業に関わりを持つことができれば、福生農業が盛り上がるのでは。」と話してくださいました。今後も地域の農家と支え合いながら、たくさんのおいしい野菜を作っていただきたいと思えます。



▲ 熊川の野島一泰さん（ご自宅にて）

花 いっぱい 運動

今年の春も市内農業者が丹精をこめて育てた花苗が市内各所に植栽されました。

今年はブルーサルビアが初めて登場し、彩りをさらに鮮やかにしていました。また、秋の植栽の準備がすでに始まっています。

♪ 石川泰広さん 花の展覧会でも活躍 ♪

花いっぱい運動でも多くの花を出荷し、活躍されている石川花園の石川泰広さんが今年の1月に開催された関東東海花の展覧会一般鉢物部門で銅賞を受賞されました。おめでとうございます！



▲ブルーサルビア
◀5月20日、花苗を納品する石川さん(左)



農地パトロール実施

五月二十五日、恒例の農地パトロールを実施いたしました。農業委員会ではパトロールを実施した対象農地所有者の方にパトロールを実施した旨を文書にてお知らせします。

今後、適正な管理に努めていただくようお願いいたします。

農地管理にお困りの際は担当地区の農業委員にご相談ください。

◀パトロール中の様子

